観光の人材を育てる大学、専門学校

力強い日本経済へと立て直すための成長戦略の柱と位置付けられている「観光」。その未来有望な産業には活力ある若者の存在が欠かせない。優れた観光の人材を育てる大学、専門学校を紹介する。

心からのおもてなし実践
東京YMCA国際ホテル専門学校

東京YMCA国際ホテル専門学校は、1935年に創立、日本で初めて開校したホテル専門学校だ。心からのおもてなしを実践する人材を育成する。

創立当時から掲げる同校のカレッジスピリットは聖書にある言葉「Practice Hospitality（努めて旅人をもてなしなさい）」。すでに1万1千人を超える卒業生を国内外へ送り出している。

「社会の要請に応えて活動を続けてきた私たちの精神は長い歴史の中で確実に受け継がれている。青少年の全人的な成長を願う『東京YMCA』を運営母体とする本校は、ホテルだけにとどまらず『人間性を育てる』機会にも恵まれている。これからも社会性に富んだホテリエへの指導に力を注いでいく」と同校。

ホテル総支配人から若いサービス現場のスタッフまで、あらゆる世代のリーダーとして卒業生が活躍し、ホテル・ブライダル・サービス業界からの信頼も厚い。

1年間で就職を目指す「ホテル専攻科」は、大学・短大・専門学校卒業者を対象とし、幅広い知識・実務、そしてマネジメントを中心に学ぶ同校独自の専門課程だ。かつて「研究科」と呼ばれていた同課程は、すでに30年以上の実績を持つ。ホテル・旅館の後継者として求められる経営全般について学びながら、実践的に役立つシミュレーションの講義を通じ、将来経営に携わる者として必要な経営スキルも学ぶことができる。

実践的マネジメントが学べる少人数ゼミ

これまでの卒業生の中には、国内の名旅館オーナーもおり、2代目の入学者も現れている。

サービス技能協会が毎年開催。若手のサービスパーソンがその技能を競い合うもの。同校からは8人が本選に出場し、4人が決勝に進出。課題の「シンガポールスリング風カクテルとオマールエビのサラダ」の作成に挑戦。金賞、銀賞、銅賞の独占受賞を達成するという快挙を成し遂げた。

日本ホテルスクールの教育システムは、欧米のホテル学校を例とし、さらに国内の学校形態を配慮し、独自の教育体系を形成している。ホテル業界の現業部門での技能と知識を習得するために、サービスから経営までの一貫した教育を実施している。

英語教育に力を入れている点も特徴。英語専攻科は授業全体の75%以上で英語を取り入れ、指導の多くはネイティブスピーカーによるもの。2年次にはTOEICスコア700点以上を目標に定め、訪日外国人客に英語で対応できる人材や、世界で活躍できるホテリエを育成する。

日本ホテルスクールの校舎

礼節を重んじる人間に
専門学校日本ホテルスクール

学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクールの教育理念は、①礼と節を重んずる人間の育成②ホスピタリティ精神の体得と実践③理論と実技の一体化によるサービスの創造④国際的視野に立脚した人間の育成⑤広く社会に貢献する人間の育成―の五つ。卒業生はホテル・ブライダル・レストラン業界で幅広く活躍し、企業からの評価も高い。今年度も「帝国ホテル」や「ザ・ペニンシュラ東京」などの内定が続々と決定している。

また、同校の学生は今年2月開催の「HRSサービスコンクール2014」のカレッジ部門に出場したが、見事に優勝し、昨年に続く2連覇を達成した。このコンクールは、日本ホテル・レストラン

訪日受け入れ担う人材も
JTBトラベル&ホテルカレッジ

JTBトラベル&ホテルカレッジは今年で32年目を迎えた専門学校。観光業界に広く人材を輩出している。

日本人学生の就職率は99・5%。31期生は218人（留学生を含む）が観光・運輸業界に内定。うち106人（留学生7人を含む）はJTBグループに入社した。31年間で累計2540人がJTBグループに就職している。また、「総合旅行業務取扱管理者資格」の合格率は29・8%と全国平均の2・2倍。1年生の合格者数は51人で、全国の専門学校生合格者105人の約半分に当たる。

福永主任講師

コースは昼間部と夜間部に分かれている。昼間部には、主に旅行業界を目指す「国際観光ビジネス科」、ホテル・ブライダル業界を目指す「国際ホテル科（ホテル総合コース・ブライダルコース）」、留学生を対象とした「国際観光ビジネス訪日科」を設置。夜間部には、JTBグループの旅行関連部門やホテルで昼間働きながら夜に通学する「国際観光ビジネスデュアル科（観光総合コース・ホテルコース）」と、大学や短大とのダブルスクールが可能な「国際観光ビジネス科（観光総合コース・ホテルコース）」がある。

開設11年目を迎えた国際観光ビジネス訪日科の学生は40人全員が海外からの留学生。中国、香港、台湾、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、ウズベキスタンなどアジア各国から来ている。

同科の福永里美主任講師は「在学生の8割以上は卒業後、日本で観光関係の仕事に就くことを希望している」と話す。帰国して旅行会社やホテルで日本人観光客に応対する仕事に就くケースも多いという。「授業では、日本のビジネスマナー、社会常識、敬語、おもてなしの心なども教える」（同講師）。訪日外国人旅行客受け入れに最適の人材を育成している。

観光学部が発足2年目
玉川大学

玉川大学は昨年4月、観光学部観光学科を発足した。観光学部長の益田誠也教授は「玉川学園の教育理念である『全人教育』のもと、英語運用力や国際感覚、異文化理解力・情報力などのグローバル・スキルを備えた人材教育に力を入れてきた伝統を生かし、観光を通して時代を担うグローバル人材を育成する」と話す。

観光学部長の益田教授

従来の経営学部観光経営学科を進化、発展させたこの観光学部観光学科には、初年度の昨年、募集定員90人を上回る108人が入学。今年は104人の入学者を迎えた。新設学部ながら一気に人気学部となっている。

その秘密は、観光を軸に英語力と情報力を強化する独自のカリキュラムにある。4年間の中に海外留学プログラムが組み込まれており、留学条件を満たした学部生全員がオーストラリア・ビクトリア州メルボルンの大学に1年間留学する。世界と向き合い、多文化共生の理想に貢献できる人材を育成する。

1年次から2年次前期までの1年半は英語の必修科目を毎日開設。「英語シャワープログラム」で英語力を磨く。

2年次後期から3年次前期までは、ビクトリア州の公立3大学「ディーキン大学」「スウィンバーン工科大学」「ビクトリア大学」のいずれかに留学する。同留学プログラムにはビクトリア州政府が全面協力。一昨年9月には、3大学の代表者が来日し、オーストラリア大使館で小原芳明玉川大学学長と調印式を行った。この3校を提携校に選んだのは「州政府と各州立大学との連携がとれており、安心して学生を学ばせることができる」（益田教授）からだ。

留学中のケアも手厚い。大学ごとに玉川大学の担当教員を配置。学生は留学先の大学で授業を受講するほか、「海外インターンシップ」と「国際研究」の指導を担当教員から受ける。海外インターンシップは、留学前半に行う「見学・体験型インターンシップ」と、留学後半の「実践型インターンシップ」の2回。観光業関連の日系企業や現地企業で就業体験をする。

観光学部の授業風景

留学プログラムは観光学部の授業の一環であるため、現地大学の授業料は玉川大学の学費に含まれている。また留学しても4年間で卒業できるのは魅力的だ。就職活動に支障が出ないように帰国時期もうまく設定されている。TOEIC700点以上を卒業要件に設定し、学生は帰国後も英語力のブラッシュアップに気を抜けない。

このように英語コミュニケーション力のあるグローバル人材の育成に力点を置いているが、専門分野はあくまで観光。玉川大学観光学部では、キャリアプランを意識した三つの履修モデルを用意している。

観光産業に関するマネジメントができる人材を養成する「観光ビジネス」履修モデルでは、旅行業界、航空業界、鉄道業界、宿泊業界、観光地施設・テーマパークなどを目指す。

地域の活性化や雇用機会の増大などに貢献できる人材を養成する「観光による地域活性化」履修モデルでは、旅行業界、宿泊業界、広告業界、文化施設・観光地施設・テーマパーク、公務員（地域振興関連）などを目指す。

国際交流の進展に貢献できる人材を養成する「観光による国際交流」履修モデルでは、旅行業界、宿泊業界、広告業界、国際交流を担う公共機関、NGO、外資系企業、商社などを目指す。

明確に目標設定したこの三つの履修モデルにより、学生はそれぞれの目標や興味に応じて体系的な学修を進めることができる。

東京YMCA国際ホテル専門学校
TOKYO YMCA COLLEGE OF HOTEL MANAGEMENT
『1年間で将来を担う ホテル・旅館後継者を育成！』

＊＊＊ホテル専攻科＊＊＊
大学、短大、専門学校卒業（見込）者
または高卒後2年以上の実務経験者
○一年間で就職を目指す
幅広い知識・実務・マネジメントを学ぶ
○ホテル・旅館の後継者育成
後継者に将来必要な経営スキルを養う
○少人数制授業
少人数だからできるきめ細やかな授業

2年制で基礎から学ぶ「ホテル科」、時間を有効活用して学べる1年制の「ホテル実務科」も併設

TEL 03-3202-7480
✉ ihs-info@tokyo.ymca.or.jp

2015年度4月入学者 願書受付期間　（3月まで入学試験を実施しています）
＜推薦出願受付期間：2014年10月1日(水)～2015年3月18日(水)＞
＜一般出願受付期間：2014年11月1日(土)～2015年3月18日(水)＞
個別の学校見学は随時受付中！月～土曜日、10:00～17:00

YMCAホテル学校　検索
http://hotel.ymsch.jp
〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-18-12

学校法人日本ホテル学院
専門学校 日本ホテルスクール
ホテル・ブライダル関連業界の未来を担う人材を育成

設置学科
国際ホテル学科（修業年限2年制）
●ホテル科　昼間部 夜間部
●ブライダル科　昼間部 夜間部
●英語専攻科　昼間部
国際ホテルマネジメント専科　夜間部

カナダ・オーストラリア留学制度あり

企業の皆様 ☎03-3360-8231（代表）
入学相談室 0120-58-1146
〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14
E-mail sodan@jhs.ac.jp
日本ホテルスクール　検索

推薦・支援団体　・一般財団法人日本ホテル教育センター　・一般社団法人日本ホテル協会　・海外ホテル協会　・一般社団法人日本旅館協会
・公益社団法人日本ブライダル文化振興協会　・一般社団法人日本フードサービス協会　・社団法人国際観光日本レストラン協会

大学にはない学びで夢をつかむ
就職先のほとんどは本校での学びと直結した「旅行・ホテル・観光業界」へ

JTB 感動のそばに、いつも。
学校法人 国際文化アカデミー
JTBトラベル&ホテルカレッジ
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-2-12
TEL.03-3910-5551㈹　FAX.03-3910-5152
●お問い合わせ時間　9:15～17:45（土日祝を除く）

昼間部
国際観光ビジネス科
国際ホテル科　●ホテル総合コース　●ブライダルコース
国際観光ビジネス訪日科（留学生対象学科）

夜間部
国際観光ビジネス科　●観光総合コース　●ホテルコース
国際観光ビジネスデュアル科　●観光総合コース　●ホテルコース

0120 FreeDial 0120-187-283　ホームページ http://www.jtb-college.ac.jp
【携帯電話】http://www.jtb-college.ac.jp/i　【Eメール】jtc@jtb-college.ac.jp

玉川大学 観光学部 観光学科
TAMAGAWA COLLEGE OF TOURISM AND HOSPITALITY
高い英語運用力で世界にはばたくグローバル人材の育成

学びの特徴
観光学
英語力
情報力
海外インターンシップ
留学中に、多彩な業種で社会体験を実施
英語シャワープログラム
ELF※などの英語の必修科目を毎日開設
1年間の海外留学（必修）
条件を満たした学生はオーストラリア・ビクトリア州の公立3大学に留学
ITスキル育成
情報の収集・分析・発信力を習得
※ELF=English as a Lingua Franca 共通の母語を持たない人同士の意思疎通に使われる英語のこと。

3つの履修モデル
観光ビジネス
新たな観光ビジネスをつくる
観光旅行者の要望やニーズの高度化・多様化に合わせて、それらに対応した新しい観光ビジネスモデルを生み出し、観光産業に関するマネジメントができる人材を養成します。
[主な履修科目]
○観光経営学 ○観光・ホスピタリティ事業論 ○ホスピタリティ・マネジメント ○デスティネーション・マーケティング ○サービス・マーケティング ○旅行事業論 ○宿泊事業論 ○航空事業論 ○交通事業論 など

観光による地域活性化
観光で日本各地を元気づける
観光を道具として魅力ある地域社会の実現を促進し、観光による地域づくりや街おこしなど、地域の活性化や雇用機会の増大などに貢献できる人材を養成します。
[主な履修科目]
○観光政策・行政論 ○観光行動論 ○観光社会学 ○観光開発論 ○観光経済学 ○地域文化論 ○イベント・ツーリズム ○観光まちづくり関連法規 ○観光情報システム など

観光による国際交流
相互理解を通して世界を結ぶ
国家間や異文化間の相互理解に貢献すると共に、外貨獲得やさまざまな産業振興などの経済効果も高い観光を通して、国際交流の進展に貢献できる人材を養成します。
[主な履修科目]
○国際観光論 ○国際協力 ○国際関係論 ○異文化交流論 ○観光文化論 ○観光行動論 ○観光・ホスピタリティ事業論 ○観光メディア論 ○エコ・ツーリズム ○観光文献講読 など

オープンキャンパス（詳細は HP をご覧ください）
7/13㊐ 大学紹介＆AO・推薦ガイダンス　8/1㊎・24㊐ 体験授業フェア
いずれも10:00～16:00
学部内容・オープンキャンパスの詳細は　http://www.tamagawa.jp/university/

入試広報部
〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1
資料・願書請求（大学案内メールセンター）0120-558509
入試に関する問い合わせ（入試広報課）☎042-739-8155